

《新潟市教育ビジョン 第4期実施計画》
これからの社会をたくましく生き抜く力の育成
 ～学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり～

「たくましく生き抜く力」とは
 学校教育・・・目標に向かって自らの学びを生かしたり、他者と協働したりしながら、様々なことに挑戦し続ける力、また、その過程で自分を振り返り、自分の成長を見出す力。
 生涯学習・・・いくつになっても、何度でも学びに向かおうとする意欲を持ち、新たな自分を発見したり、生きがいを見つたりする力、また、自分の学習成果を更なる活動に生かそうとする力。

新潟市の教育を推進する3つの視点

視点1 これからの社会で自信をもって自己実現していける子どもを育てます。

- ・アフタースクール学習支援事業 6,094千円
- ・学習支援ボランティア派遣事業 4,800千円
- ・外国語指導助手(ALT)配置事業 41,098千円

視点2 学びの循環による人づくり、地域づくりを進めます。

- ・家庭教育振興事業 9,079千円
- ・にいがた市民大学開設事業 5,400千円
- ・ブックスタート事業 3,377千円

視点3 地域と一体となった学校づくりを進めます。

- ・【拡充】コミュニティ・スクール推進事業 3,300千円
R2：モデル校12校 ⇒ R3：モデル校22校 ⇒ R4：全校実施
- ・地域と学校パートナーシップ事業 135,828千円

G I G Aスクール構想の推進

- ・学習用端末(児童生徒1人1台)賃借料 333,962千円
- ・【新規】ICT支援員配置事業 96,000千円
4校に1名配置
- ・iPadを用いた授業づくり研修等

学びの基盤を固める2つの視点

視点4 誰もが安心して学べる環境づくりを進めます。

- ・【見直し】就学援助事業 915,437千円
「真に援助が必要な家庭に、必要な支援をする制度」となるよう生活保護を基礎とした見直しをするとともに、新入学学用品費の単価の増額や、卒業アルバム代、PTA会費の費目を新たに追加する。
- ・奨学金貸付事業 89,200千円
- ・特別支援教育・支援員配置事業 607,213千円
- ・スクールガードリーダー配置事業 2,108千円

視点5 市民に信頼される、魅力ある教育関係職員の育成に努めます。

- ・マイスター養成塾等教育関係職員研修事業 6,765千円
- ・事務支援員(スクール・サポート・スタッフ)配置事業 51,705千円
- ・部活動指導員配置事業 12,093千円

新しい生活様式への対応

- ・事務支援員(スクール・サポート・スタッフ)配置事業(再掲) 51,705千円
R2当初：大規模校25校 → R2補正後：全校配置(大規模校は2名配置) ⇒ R3：大規模校39校
- ・地域教育コーディネーター連携強化事業 800千円
校務支援システムとの連携にかかる運用経費

インターハイ開催 35,000千円
 バスケットボール女子 8月10日～15日
 (会場：東総合スポーツセンター(ほか))
 新体操 8月21日、22日 (会場：東総合スポーツセンター)